

訂正情報『戦後日本社会論』

2024年1月
株式会社有斐閣

本書において、下記のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

第1章

p.17 注2

誤) 戦後は医療技術の発達や栄養状態の改善によって、乳児死亡率は劇的に低下し、二〇二一（令和三）年では〇・〇一七%である。生後一年未満で亡くなるのは一万人に二人弱である（厚生労働省〔令和三年（二〇二一）〕人口動態統計月報年計〔概数〕の概況）。

↓

正) 戦後は医療技術の発達や栄養状態の改善によって、乳児死亡率は劇的に低下し、二〇二一（令和三）年では〇・一七%である。生後一年未満で亡くなるのは千人に二人弱である（厚生労働省〔令和三年（二〇二一）〕人口動態統計月報年計〔概数〕の概況）。